



# 『社会保障と税の一体改革』はなぜ必要なのか？

**日時：**12月4日（火）18:30-20:00

**開場：**18:00

**会場：**慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

**申込：**必要

オンライン登録フォームにてお申込、受付確認メールをお受取下さい。

<http://www.kilp.law.keio.ac.jp/lecture/>

**主催：**慶應義塾大学法学部 法学研究所

「社会保障と税の一体改革」とは何だろうか？ なぜ消費税率を5%引き上げる必要があるのだろうか？ 社会保障制度と消費税率引上げの間にどのような関係があるのだろうか？

社会保障制度の基本的な枠組みが構築された1960年代と現在では社会経済情勢が大きく変わり、それに合わせて社会保障の機能強化と持続可能性の確保を通じた「全世代対応型」の社会保障制度の構築が求められています。

今回の講演では、「社会保障と税の一体改革」を行うこととなった背景・必要性から社会保障改革や税制抜本改革の概要、さらには今後の課題まで分かり易く解説します。一体改革は世代間の配分に大きな影響を与えるものであり、若者から高齢者まで全ての世代にとって他人事ではありません。ここで一度、社会保障と税の一体改革について考えてみませんか？



講演者：山沖義和

1958年6月20日生

現職：財務省大臣官房参事官、財務総合政策所コンサルティング・フェロー

略歴：1982年 慶應義塾大学経済学部卒業、同年 大蔵省(現・財務省)入省  
財務省・金融庁のほか、在イタリア日本国大使館、預金保険機構、  
国際協力銀行(在シンガポール)に勤務。直前は信州大学(教授)に出向。

論文：「地域銀行における貸出金利回りに対するリーマン・ショックの影響」  
金融構造研究第34号(2012年) 他



コメンテーター：太田康広

慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。1968年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。ニューヨーク州立大学バッファロー校スクール・オブ・マネジメント博士課程修了。経営学博士。カナダ・ヨーク大学管理研究学科助教授等を経て現職。内閣府行政刷新会議事業仕分け民間評価者(仕分け人)。会計検査院特別研究官。ヨーロッパ会計学会理事(アジア地区代表)。

お問い合わせ先：慶應義塾大学法学部法学研究所 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

E-mail: [kilp@info.keio.ac.jp](mailto:kilp@info.keio.ac.jp) <http://www.kilp.law.keio.ac.jp/>